とぴっくす

NEWS & REPORT

12がつ

卓球世界ベテラン大会8回目の優勝

「９２歳元気はつらつ内田雪江さん」

インタビュー
総務課　企画広報班　佐久間聖子

今回は、5月30日～6月5日神奈川県で行われた卓球世界ベテラン選手権大会85歳以上の部で見事優勝されました内田雪江さんにお話をお伺いいたしました。

Q卓球を始められたのはおいくつのときですか？

A61歳です。

Q卓球を始められたきっかけは？

A主人とふたりで、健康のために何かしようかということで、スポーツがやっぱりいいだろうということで。でも、スポーツにもいろいろあるから、何を選んだらいいかふたりで相談しまして、卓球だったらふたりでできるし、場所もあまりとらずに雨が降ってもできるし、そして手軽にできるので、「じゃあ、卓球を始めよう」ということになりました。

（お2人で始められたのですね）

Q今、練習は1週間にどれくらいされていますか？

A週に3，4日1回2時間程度です

（ということは、結構なさっていますね。すごいですね）

Qでは、卓球の楽しいところはどういうところですか？

Aそうですね、むずかしいところですね。

（むずかしいところ？）

Aむずかしいところにチャレンジして、何とかしてできるようになればうれしいですね、しかし次から次に課題が出てきてなかなか上達はしませんけど（笑）

（なかなか奥深いところがあるんですね）

Aそうなんです。難しいところを克服するのが楽しみというところですね。

Q今のお元気の秘訣は？

A運動することと食事のことをいろいろ考えています。カロリー・栄養面を考えています

Q他に健康で気をつかっていらっしゃるところは？

A体を動かすことが一番だと思って、起きる前30～40分ぐらい体操をしています。足腰、腹筋の体操をしています。

Qこのたびの世界ベテラン大会優勝についてのご感想は？

Aそうですね、私が61歳で卓球を始めて、初めて優勝したのがイタリア大会で74歳でした。その後もいろんな国へ行って8回優勝することができました。時間が夢のように過ぎていきました。

Q失礼ですがおいくつでいらっしゃいますか？

A92歳です。

Qこの次の目標は？次の大会に出場されますか？

A今度はドイツですので、もうそのときには94歳になってますからね、自分ではどうかと思いますけれども、子供や孫がはやしたてて、「おばあちゃん、行くよ、行くよ」と言っておだてて勇気づけてくれます。何か目標がないといけないから、私もその気になっています。やっぱり目標がないとガタッときてしまいます。

Q最後に、卓球を愛好されている方にひとことお願いします。

A今まで相手をしていただいた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。年寄りを嫌がらずに相手をしていただいてほんとにうれしく思っています。
みなさま、頑張ってください。

（ありがとうございました）

インタビュー終了後練習を見させていただきました。
練習中は、コーチの話を真剣に聞かれ、常に新しいことにチャレンジしようとする意気込みが伝わって来ました。きっと次のドイツ大会も私たちの期待に応えてくださる事でしょう。

クラブ・コム

総合型地域スポーツクラブ
情報コーナー

熊本市総合型地域スポーツクラブ交流会開催！

平成16年10月24日（日）桜木東小学校で熊本市総合型地域スポーツクラブ交流会が、熊本市教育委員会と（財）熊本市社会教育振興事業団の主催で開催されました。交流会は既存の5クラブと設立準備中の天明地区から約200名が参加し、大塚熊本市社会体育課長の開会宣言のあと、グラウンドでは、キッズサッカー（12チーム）・ティーボール（3チーム）、体育館ではショートテニス（9チーム）を行い、それぞれ力の入った熱戦が繰り広げられていました。

その他、ニュースポーツのディスゲッター（フライングディスクを的に当てる）、キックターゲット（サッカーボールを的に当てる）を行い、クラブ会員をはじめ、大会参加者の友達同士や親子に楽しく体験してもらいました。

ショートテニスで優勝したほくぶチームは「年をとってからでも続けていきたい」ととても喜ばれていました。

今回から、総合型地域スポーツクラブが活動している場所で交流会を行いましたが、大変盛り上がっていたように感じました。今後も各クラブと市教育委員会と連携して、活発な交流会を開催していきたいと思います。